

美しいまち
とけ込む文化

第3回 しまね景観賞



島 根 県

はじめに



島根県知事 **澄田信義**

私たちのふるさと島根は、優れた自然や伝統文化に恵まれ、それぞれの地域で個性豊かな景観を創りだしています。

このような優れた景観を守り育て、次の世代へ受け継いでいくため、県では、平成3年12月に「ふるさと島根の景観づくり条例」を制定し、様々な景観づくりの施策に取り組んできました。その中で「しまね景観賞」は、地域の景観づくりに特に貢献したものを表彰し、快適で文化の薫り高い島根の景観づくりを推進する一助とするため、平成5年度から普及啓発事業のひとつとして実施しております。

景観づくりは、県民一人ひとりの活動に支えられており、地域が主体となって取り組むことが大切です。そのためには、日頃から私たちの周りに関心を持つことが非常に重要であり、「しまね景観賞」はそのような周囲への関心を喚起し、景観に対する意識の高揚に寄与しているものと考えております。

本年度は第3回目となりましたが、景観に対する関心の高まりの中で、昨年を上回るたくさんの応募をいただきました。本賞の趣旨に賛同し、ご応募いただきました皆様に対し、心から感謝申し上げます。

今後とも、「しまね景観賞」が景観への関心を高め、地域振興の中で、景観を意識した町づくりが一層推進されることを期待しております。

受賞されました皆様には深く敬意を表するとともに、選定にあたりご尽力いただきました「しまね景観賞審査委員」の諸先生方に対しまして厚くお礼申し上げます。

平成8年2月

選考総評



しまね景観賞審査委員会
委員長 **藤岡大拙**

第3回目を迎えたしまね景観賞を募集するにあたり、前回までの方法を再検討し、民間からの小規模物件の増大を図るとともに、小さな活動、小さな配慮をも顕彰するため、部門の改編をおこない、一般建築物部門や個人住宅部門を設定した。また、賞の種類を増やし、大賞、優秀賞など四種の賞をもうけた。

今回の応募数は、このような改正の効果があったせいか、昨年度よりも多く、物件数にして98件であった。応募は全県に及び、かつ応募物件はいずれも質的に高いものがあり、景観の保全・形成についての認識が深まっていることを示している。しかし、部門別には質的な差異があり、とくに個人住宅部門については、応募件数も少なく、周囲との調和のとれた景観という点で、今後の課題も多いように思われる。

しかしながら、景観問題への関心と努力は年々高まっており、これらをきめこまかく顕彰することによって、調和のとれた美しい県土の形成に寄与するのが、しまね景観賞の意義であり使命であると思っている。

大賞

● 矢尾・日下景観づくり活動

所在地

出雲市矢尾町、日下町

事業主体

高浜公民館事業実施委員会

概要

平成5年「北山の自然と史跡を活かす矢尾・日下景観づくり協定」締結

協定締結戸数 216戸
天平古道整備延長 約5,000±□



天平古道

出雲市の北、鼻高山（はなたかせん）や弥山（みせん）のそびえる北山山脈の麓に、山手往還と呼ばれる古い道がある。かつて、出雲大社に参詣する北路（きたぢ）という路であった。この道は矢尾・日下地区の集落の間を縫うように東西に通じている。自動車がやっと通れるほどの狭い道だが、道ぞいの民家は石垣とモクセイの生け垣で美しく囲まれている。道はきれいに整備され、清冽な谷川の水が心地よい音をたてて流れている。さらに、この山手往還よりもっと山側に、天平古道という古代の道も残っており、周辺の史跡とともに整備が進められている。地域ぐるみで景観づくりに努力し、素晴らしい成果をあげているモデル地区といえよう。（藤岡大拙）

● 松江大橋川沿いの柳並木通り

所在地
松江市東本町

事業主体
松江市

設計者
益美測量設計株式会社

施工者
株式会社 庭の川島

概要
延長 300m
シダレ柳植栽 26本
照明灯・歩道舗装・車止め整備



城下町松江の顔として代表的なもののひとつに松江大橋がある。この通りは、その松江大橋の上から街の景色としてよく見える。

二年位前までそう広くもないこの通りの川端は、違法駐車の手でいっぱいだった。人が安心して歩ける状態ではなく、ましてや川端をそぞろ歩くという風情もなかったし、街の景観としても大変悪かった。

かつて松江では街路樹の受難の時代があったと聞く。街路樹も大きくなってくるとどうしても邪魔になってくる。葉は落ちる、楯は詰まる、看板が見えなくなる等の理由で根元から石油をかけて枯らしてしまっただけという。信じられないような話だが、今でも「邪魔だから切ってしまう」という話を時々耳にする。

この通りも以前はりっぱな柳並木があり風情のある通りだった。その内の何本かは石油の犠牲になったものもあるかもしれないし、何かの理由で折れたり切られたりしてほとんど無くなってしまい、ついには駐車場と化してしまったようだ。

色々な経過をたどりここにまた柳並木が再現され、街路灯や丸い石柱の車止め、玉砂利の舗装が通りに潤いを与えて、都市景観のひとつとして甦った事は大変意義深い。
(小串伸春)

村上家隠岐しゃくなげ園

所在地

隠岐郡五箇村大字郡

事業主体

村上八束

概要

面積 約2ha
オキシクナゲ植栽 約1万本



昭和40年代の山野草ブームで、山中に自生していた隠岐シャクナゲのほとんどが人の手によって掘り返され、各家庭の庭先でさびしく花をつけていた。その後、人々のシャクナゲに対する熱も冷め、管理もいがかげんになってきた昭和50年頃より、村上八束（やつか）氏は自宅の裏山に、シャクナゲを買い集め植栽をはじめた。初めは、ほんの趣味のつもりだったそうだが、近所で気に入った木を見つけては譲ってもらい、少しずつ増やし続け、今ではその数約一万本という。

この隠岐シャクナゲは隠岐島の固有種で、花卉が7つに分かれているのが特徴である。4~5月上旬に一斉に咲き誇り、杉木立の小山はピンクの花でうめつくされる。ゴールデンウィークには、地元の農協、漁協、商工会などが実行委員会をつくって「しゃくなげ祭り」を開催し、毎年多くの観光客が訪れる。

一個人の努力によって築き上げられたこのしゃくなげ園は、今や隠岐の島の顔として、無くてはならない存在となっている。（佐藤孝男）

● 白潟公園

所在地

松江市灘町地内

事業主体

松江市

設計者

株式会社 LAT環境設計事務所

施工者

松江土建株式会社
有限会社 みどり建設
有限会社 岡本石材店

概要

親水広場・浜高の庭・灯籠の広場
今回整備部分面積 1ha
竣工 平成7年3月



宍道湖は松江市の誇る代表的な景観資源である。しかし、その湖岸は治水上の理由で全面的にコンクリートの護岸（擁壁）が構築され、特にこの白潟公園地区では地上より1mの高さにパラペット護岸が連続して、宍道湖と公園は分断され、折角湖岸につくられた親水テラスも用をなしていなかった。

こうした治水本位の護岸は、宍道湖と共に生活を営み、その景観を誇りにしてきた松江市民にとってあまりにも無神経なものであった。

幸いにもこの度、松江市では、都市計画道路の袖師末次線の拡幅工事に伴い、「宍道湖周辺ウォーターフロント整備計画」に基づいて当公園の再整備が図られ、河川区域をセットバックさせ、パラペットを撤去し、部分的に見晴らしデッキのある階段護岸として、治水上の構造を満足させながら、既存親水テラスとの一体化がなされ、見事にウォーターフロント整備を成功させられた。

多分、この新しい白潟公園は、宍道湖の落日の夕景など四季の湖を眺めるゾーンとして、市民や観光客の宍道湖とのふれあいの場となるであろうし、また、ハゼ釣り大会など市民のイベントやレクリエーションの場として親しまれる多目的公園となるであろう。（矢田清治）

● 津和野川こいの散歩道

所在地

鹿足郡津和野町大字後田

事業主体

島根県

設計者

株式会社 大建コンサルタント

施工者

株式会社 栗栖組

概 要

こいの散歩道 延長 2,000㎡
 であいの広場 面積 1,500㎡
 竣工 平成7年3月



見事に津和野川沿いを表の空間に蘇らせた。流下能力の増大を目標とする河川整備においても、近年は景観に配慮した設計がなされてきているが、現実には河川空間内のみの整備で終始することが一般的である。しかし、この市街地内にある河川の整備事業では、河川周辺の景観要素を取り込んだ一体的な空間整備を心がけ、住民はもちろん津和野を訪れる人々に楽しい沿川空間を提供している。つまり、土地制約のある密集市街地内の河川であるため、河道拡幅が困難であり、急勾配とならざるを得ない護岸を、安定感のある、そして津和野に似合う石積みとし、かつ隔違いを設けて単調になりやすい護岸の分節化を図っている。護岸上部は道路面よりやや高くなる箇所もあるが、石州瓦を埋め込んだデザインを施し、桜並木が風情を醸し出しており、川沿いに人々の新たな動線を形成するだろう。さらに、養老館の庭園から水辺まで連続した広場を一体的にデザインし、川を表にした橋詰め空間を創造するなど、行政側である津和野町の積極的な協力が伺われ、今後の公共土木事業のあり方を示唆している。 (藤居良夫)

くすのき広場

所在地

出雲市大津町

事業主体

出雲市

設計者

有限会社 ナック建築事務所

施工者

株式会社 タケダ造園

概要

メモリアル広場 なんきんはぜの広場
 四季の花壇 管理棟 アスレチック広場 ジョギング道
 面積 1.32ha
 竣工 平成5年3月



かつての市民球場の跡地をまさに「メモリアル」広場として市民が親しめる近隣公園に再生した。球場のピッチャーマウンドがあった位置にシンボルツリーとしてクスノキを、それを取り囲む球場の内野部分に芝生広場を設けるなど、その発想がおもしろい。周囲にジョギング道を配置して、また、アスレチックベンチを設け、かつての運動場の名残が感じられる。四季折々の草花を植えた花壇やナンキンハゼの広場、そして、それらのライトアップなど工夫が凝らせてある。駐車場と駐輪場は少し低くして樹木で覆い、目立たなくしている。また、管理棟は控えめなデザインとし、その2階会議室からの見えを造園的に考慮して、西側に竹林を配している。さらに、敷地東側の市道の土地的制約から緊急車両の進入が困難であるため、公園内の一部を緊急用に活用できる工夫をしている。全体として高瀬川沿いの整備と一体的な利活用も考慮した設計で、緑豊かな市街地の中の落ち着いた公園として永く親しまれるだろう。

(藤居良夫)

● 荒神谷史跡公園

所在地

簸川郡斐川町大字神庭

事業主体

斐川町

設計者

株式会社 景観設計研究所

株式会社 コスモ建設コンサルタント

施工者

株式会社 フクダ

概要

荒神谷遺跡 交流の広場

古代村 荒神さん広場

面積 27.5ha

竣工 平成7年3月



島根といえば“国引き”“国譲り”の神話に代表されるような「神々の国」というイメージが定着している。しかしこれは、神話という非科学的でしかも空想的な概念であって、現実の歴史との整合性は不十分であったといえる。ところが、この荒神谷遺跡の発見によって、にわかに古代出雲に対する虚像と実像が歩み寄り始めている。そのため現在は新しい島根のイメージを構築し始める、そんな時期であるといえる。

このような観点にたつて荒神谷史跡公園を概観すると、この公園の中心（核）となるのはなんといっても遺構をそのまま復元した場所。発見時の興奮が蘇ると同時に、いまだ解き明かされない荒神谷の謎解きに“参加しませんか！”と、公園での遊学の展開を導いてくれる。また、古代蓮や竪穴式住居など古代の原風景を再現する試みは、この謎解きに五感からのアプローチを可能にし、水辺の小路や集いの広場をはじめとする諸種の空間は、精神的な安らぎの中で十分に思考できる場を提供してくれている。

歴史好きの国民性を刺激する面白い史跡公園であるといえる。

(松場登美)

● 八束町庁舎

所在地

八束郡八束町大字波入2060

事業主体

八束町

設計者

有限会社 ナック建築事務所

施工者

清水建設・松江土建特別共同企業体

概要

事務所 鉄筋コンクリート造／一部鉄骨造
地上2階
建築面積 2,157.90㎡
延べ面積 3,302.89㎡
竣工 平成7年3月



大根島に近づいていくと、灯台に見立てられたシンボルタワーが見え隠れする。役場の立地がうまく生かされ、町役場という町にとっての中心施設として景観の核となることが意図されている。

気持ちのいい明るい役場である。町民に開かれた親しみやすい役場のあり方が全体として表現されている。

アルミ、ガラス、コンクリート、タイル……と多くの素材が使われているが、うまくカラーコーディネートされており、全体の統一感がある。ポイントに曲線、曲面が使われており、心地よい全体シルエットをつくりだしている。水、緑も巧みに取り入れられている。

大会議室、議場、町民ホールが、それぞれ大根島、江島、船に見立てられ、中庭を囲む構成もわかりやすい。

(布野修司)



所在地

鹿足郡津和野町大字町田

事業主体

津和野町

設計者

株式会社 宮本忠長建築設計事務所

施工者

株式会社 森本建設

概要

美術館 鉄筋コンクリート造／一部鉄骨造 地下1階／地上3階
 建築面積 910.26㎡
 延べ面積 1,678.75㎡
 竣工 平成7年3月



この記念館の設計者は、ある建築専門誌で、設計イメージの原点は「青野山、城山、津和野川、町のもつ風景、植生のすべてにわたって森林太郎が10歳にして故郷を離れるときの様相を大切にしていこう〈記憶の中の風景〉の創成であった。」と述べられている。そして、建築はあくまでも脇役であり、主役は周辺の環境であるとして、極力自己主張を抑え、風景の中の建築こそ歴史的環境における修景であるとされている。この設計者の謙虚な姿勢は、景観形成の上での最も模範的なあり方として高く評価されなければならない。

この記念館の外観は、周辺の環境と穏やかな調和を意図して、屋根は石州瓦（津和野色）、外壁は珪器質煉瓦タイルによって構成され、津和野土塀などにより風土性を重視しながらも、半透明ガラスによるアプローチギャラリー等にもみられるような現代性が見事に取り入れられ、新しいディテールデザインによる高密度な建物となっている。また、外構はコンクリート洗出し模様仕上げの駐車場、前庭、そして中庭とつながるアプローチの扱いも絶妙で、鷗外の「花暦み」に出てくる植生の再現も心憎い。

この建物をみながら、しみじみと津和野町が最適任の建築家に巡り合われた幸運を思い、建物における建築家の役割の重大さを痛感したものである。
 (矢田清治)

●中国デザイン専門学校横田町セミナーハウス

所在地

仁多郡横田町大字稲原2074-2

施工者

株式会社 安部建設

事業主体

中国デザイン専門学校

概要

寄宿舍 木造 地上2階

建築面積 406.51㎡

延べ面積 487.00㎡

竣工 平成7年3月

設計者

有限会社 樋村徹設計室



この建物は、中国山地の山あいにある県境の町横田町に建つ、民間デザイン学校の研修施設である。敷地は横田の街を見下ろす小高い丘の上で、広々とした恵まれた自然環境の中にあり、すぐ近くには同じ学校の実習センター棟もある。その2つの建物は同じような雰囲気を持っており、互いに呼応しあうように建っている。

この木造2階建の建物はシンプルなデザインで、なにげなく控え目に建っているようであるが、よく見ると実に品が良い。

外観は宿泊棟と食堂棟に分かれ、それぞれに切妻屋根をかけ、木や石、漆喰等色々な自然の素材をバランスよく使って、確かなディテールでシンプルな中にも豊かな表情が感じられる。更に、建物の裏の山側の立面も、仕上げには焼杉板張りや、屋外階段も同材で囲って道路からは見えなくする等、周囲に気を配り4方向共手を抜くことなく納めてある。この肩肘はらない、何も飾らない、自然なたたずまいが、周囲の自然環境によく溶け込んでいる。

周りの景観に強烈なインパクトを与える建築が多くなってきた昨今、何かしらほっとする気分させられる。
(小草伸春)


 高橋正訓邸

所在地

松江市上乃木1-22-22

事業主体

高橋正訓

設計者

株式会社 寺本建築・都市研究所

施工者

株式会社 増原産業建設

概要

専用住宅 コンクリートブロック

造 地上2階

建築面積 193.26㎡

延べ面積 220.09㎡

竣工 平成6年11月



既成市街地の景観をどうつくっていくか、あるいはどう守っていくかは景観行政の大きなテーマである。特に、個々の住宅がどう街並み景観の形成に寄与するかは県民全体の身近な課題である。モニュメンタルな公共施設は地域の景観イメージに大きく貢献するのであるが、もっと大切なのは地となる既成市街地の景観である。ただ、一戸一戸の住宅のみに街並み景観を構成するところまで期待するのは難しい。住宅部門について評価が分かれるのはそのせいである。

高橋邸は、起伏のある住宅街の高台に建つ。丸い穴を開けた屋根に中庭の樹木がのぞくのが印象的である。全体として取り立てて特徴ある景観を形成しているわけではない一般的な住宅地の中で、都市型住居の一つのあり方として、中庭を住居の中心にとりこんだ形式を提案している点を評価したい。周囲が建て詰まっても緑や自然の環境を内部的に確保すると同時に、周辺との調和も考慮している。住宅一軒建てる場合にも、周辺へのいろいろな配慮が必要でその積み重ねがいきいきとした親しみやすい景観をつくっていくことにつながると思う。 (布野修司)

● ぐるっと松江・レイクライン

所在地

松江市

事業主体

松江市

設計者

日野自動車販売株式会社

概要

行程 一周14.6km

所要時間 55分

乗車定員 48名

運行開始 平成7年8月



公共交通機関・特に街の中を走るバスには、利用者の心理から考えて、遠くからの視認性が求められるのは当然である。いつ来るかと待つ身にとって「あっ、来た」と遠くから分かる喜びは格別である。その意味で、ヨーロッパのバスの配色は、コントラストの強い色彩デザインのものが多い。しかしそれが、街の中の『騒色』という景観上のマイナス要因になってはならない。景観の中の色彩デザインは、その環境の中で考えられなければならないのである。このレイクラインのバスの色彩は、松江という静かで伝統的なモノトーン的环境を得てはじめて美しく見えるのだ。

私自身もぐるっと松江を一巡して、乗ってみた。バス停でバスが近づいて来るのが見えたとき、思わずワクワクしたものだ。観光客だけのバスかと思っていたら、買い物袋をさげた市民が気軽に利用していた。これから運行回数が増えればもっと皆に愛され、利用されるバスとなることうけあいである。

レトロ調の車体は、アメリカ某都市の路面電車に似ているという批判もあるようだ。しかし、今やこの色彩デザイン以外には考えられないと思える程、松江の街並みに調和している。このバスは、松江の景観を活き活きとさせる動くアクセント・カラーと言えよう。 (田村美幸)

● ミルキーウェイ・ホール

所在地

江津市江津町1110-17

事業主体

江津市

設計者

高松伸建築設計事務所

施工者

株式会社 中電工

概要

外壁照明(黄道12宮星座)
光ファイバー 光源ボックス 10基
外部通路照明 スカイビーム 23個
屋上投光機 17基



江津市の「やすらぎとうるおいの里づくり事業（コミュニティゾーン計画）」の一環として、昨春、同市江津町にお目見えした江津市総合市民センター（愛称ミルキーウェイ・ホール）の夜景である。

四角形の集積による個性的なフォルムをもつこの建物は、江津市の象徴である江の川の悠々たる流れと、その上に輝く天の川（ミルキーウェイ）の遥かなる流れをともに表したものである。江津市は、中心部にどっしりとした姿を見せる星高山に隕石を祀る寺もあり、星の世界との縁浅からぬ土地柄。二つの「流れ」の結びつきは、この地で子ども時代を過ごした筆者にとっては、満天の星の下、上江川橋の上で人々が涼をとっていた遠い夏の夜の情景につながるものでもある。

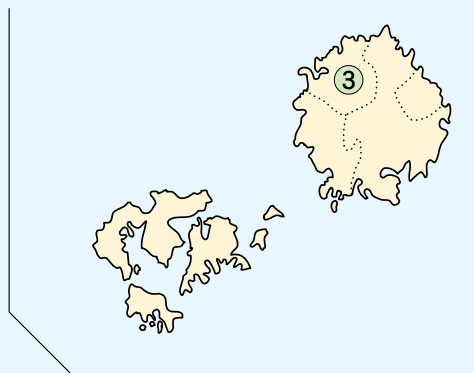
壁面の光は光ファイバーを配して形づくられた黄道12宮星座。三種の大きさの光源によって、西側には射手座、蠍座などの夏の星座が、東側には双子座、牡牛座などの冬の星座が表現されている。夕映えを背景に、川面を思わせるタイル張りの壁の水色が徐々に闇に沈み、かわって現れた星々が次第に輝きを増していく様子は印象深い。

ともすれば見る者に威圧感を与えがちな大規模ビルディングの長大な外壁を、ロマン漂う宇宙空間に変じた発意が注目された。（八田典子）

平成7年度
第3回 しまね景観賞



しまね景観賞表彰銘板
(アルミ合金鋳物製)
22×27



表彰対象事業・作品

大賞

1. 矢尾・日下景観づくり活動(出雲市)
事業主体/高浜公民館事業実施委員会

まち・みどり部門 奨励賞

2. 松江大橋川沿いの柳並木通り(松江市)
事業主体/松江市

まち・みどり部門 特別賞

3. 村上家隠岐しゃくなげ園(五箇村)
事業主体/村上八束

土木施設部門 優秀賞

4. 白濁公園(松江市)
事業主体/松江市

土木施設部門 優秀賞

5. 津和野川こいの散歩道(津和野町)
事業主体/島根県

土木施設部門 奨励賞

6. くすのき広場(出雲市)
事業主体/出雲市

土木施設部門 奨励賞

7. 荒神谷史跡公園(斐川町)
事業主体/斐川町

一般建築物部門 優秀賞

8. 八束町庁舎(八束町)
事業主体/八束町

一般建築物部門 優秀賞

9. 森嶋外記念館(津和野町)
事業主体/津和野町

一般建築物部門 奨励賞

10. 中国デザイン専門学校横田町セミナーハウス(横田町)
事業主体/中国デザイン専門学校

個人住宅部門 奨励賞

11. 高橋正訓邸(松江市)
事業主体/高橋正訓

工作物・その他部門 優秀賞

12. ぐるっと松江・レイクライン(松江市)
事業主体/松江市

工作物・その他部門 奨励賞

13. ミルキーウェイ・ホール(江津市)
事業主体/江津市

審査委員

小草 伸春

島根県建築士事務所協会会長

田村 美幸

公共の色彩を考える会委員長

八田 典子

島根国際短期大学講師

藤居 良夫

島根大学生物資源科学部講師

○ 藤岡 大拙

島根女子短期大学教授

布野 修司

京都大学工学部助教授

松場 登美

石見地域デザイン計画研究会会長

矢田 清治

島根県建築士会会長

佐藤 孝男

島根県環境生活部長

敬称略・50音順 ○印は審査委員長

審査経過

募集期間

平成7年8月1日□,~8月31日□”

募集結果

推薦（応募）総数……………106通

推薦（応募）物件数…………… 98件

第1回審査委員会（平成7年6月8日）

対象物、募集方法、審査日程、審査基準等の検討

第1次審査（平成7年10月18日～10月30日）

推薦書類、写真により第2次審査の対象となる30物件を選出

第2回審査委員会（平成7年11月20・21日）

選出された30物件について現地審査及び最終審査を行い、13物件を選定

表彰式（平成8年2月8日）

受賞事業・作品の事業主体、設計者、施工者に対して表彰状を、事業主体には副賞として銘板も併せて贈呈

第3回 しまね景観賞 第2次審査対象物件一覧

応募部門	物件名称	所在地
まち・みどり部門	*松江大橋川沿いの柳並木通り 萩津和野線自転車歩行者道 *村上家隠岐しゃくなげ園 又賀敬子邸、板垣晃邸の門及び塀 忌部花街道（忌部まちづくり推進会議）	松江市東本町 鹿足郡津和野町大字後田 隠岐郡五箇村大字郡 松江市北堀町塩見縄手地区 松江市忌部町（県道松江木次線沿い）
土木施設部門	木次大橋 *白濁公園 *くすのき広場 *荒神谷史跡公園 *津和野川こいの散歩道 松江城山公園北惣門橋 斐川ふるさと通り（荘原三絡線）	大原郡木次町大字里方 松江市灘町 出雲市大津町 簸川郡斐川町大字神庭 鹿足郡津和野町大字後田 松江市殿町 斐川町大字荘原町
一般建築物部門	加茂町文化ホール ラメール *森鷗外記念館 島根県市町村振興センター *八束町庁舎 美都町立仙道小学校プール管理棟 六日市学園介護福祉専門学校 ミルキーウェイ・ホール（江津市総合市民センター） ファミリー池田（町営住宅池田団地） 島根県立看護短期大学 隠岐ポートプラザ *中国デザイン専門学校横田町セミナーハウス	大原郡加茂町大字宇治303 鹿足郡津和野町大字町田 松江市殿町8-3 八束郡八束町大字波入2060 美濃郡美都町仙道125 鹿足郡六日市町大字真田字八瀬1120 江津市江津町1110-17 八束郡宍道町東来待994-12 出雲市西林木町 隠岐郡西郷町大字中町字目貫の4、54-3 仁多郡横田町大字稲原2047-2
個人住宅部門	高橋賢二郎 *高橋正訓邸	出雲市塩治神前1-4-14 松江市上乃木1-22-22
工作物・その他部門	佐田町シンボルモニュメント *矢尾・日下景観づくり活動 山陰合同銀行本店新築工事工事用仮囲い *ミルキーウェイ・ホール *ぐるっと松江・レイクライン	簸川郡佐田町大字反辺 出雲市矢尾町、日下町 松江市魚町10 江津市江津町1110-17 松江市

受付順 *は受賞作品

